

川崎市の財政状況

平成26年1月30日



川崎市



目次

1 川崎市のポテンシャル

2 財政の現状分析

3 行財政改革の取組

4 川崎市債の管理

1 川崎市のポテンシャル

- (1) 川崎市のロケーション
- (2) 元気都市かわさき
- (3) 川崎市に立地する世界的企業と研究開発機関
- (4) 環境技術で国際貢献
- (5) 「キング スカイフロント」における国際戦略拠点の形成
- (6) 新川崎・創造のもりにおける先端研究開発拠点の形成
- (7) かわさき基準(KIS)に基づく福祉産業の振興
- (8) 都市拠点・ネットワークの整備



道路・鉄道・空港など交通利便性の高さ

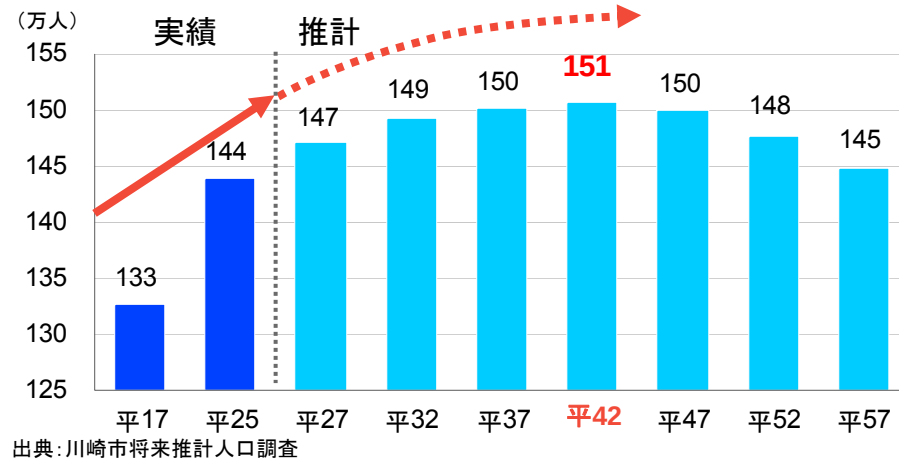




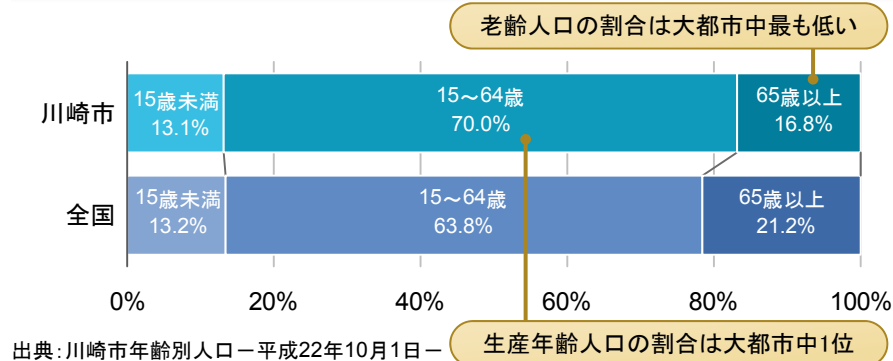
元気都市かわさき（１）

若い世代が支えるエネルギーあふれる都市

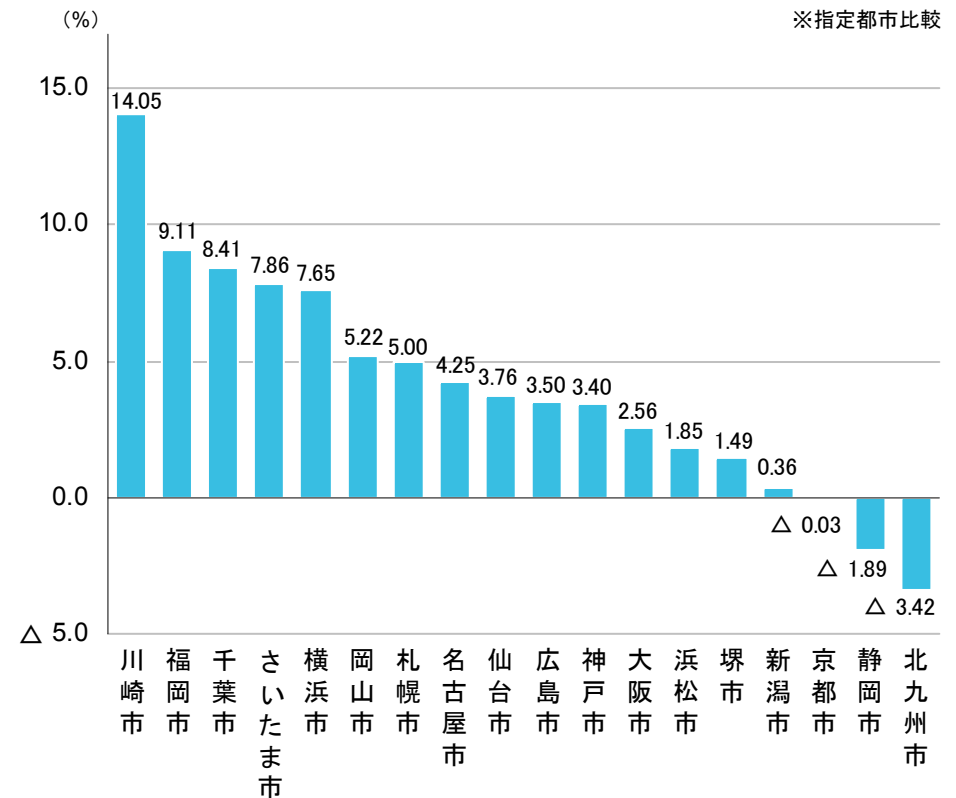
人口の増加状況と将来推計



年齢構成からみる人口



10年間の人口増加率は他都市を大きく上回る 出生率1位(22年連続※)、婚姻率1位(27年連続※)



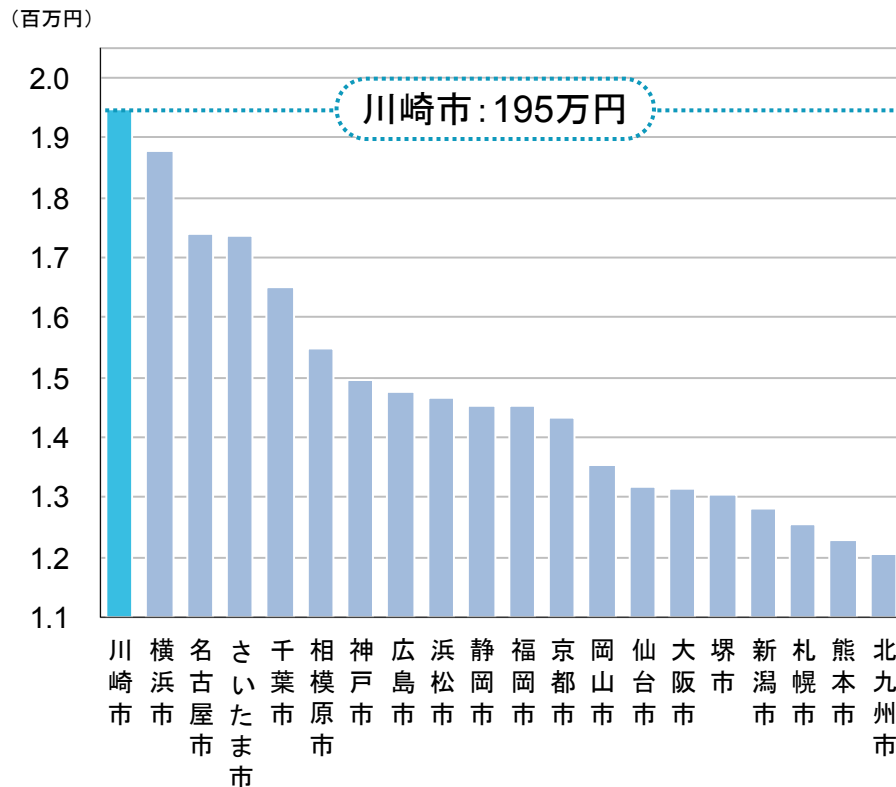
平成12年、22年国勢調査に基づき川崎市が算定
※は大都市比較統計年表(平成23年度)



元気都市かわさき（２）

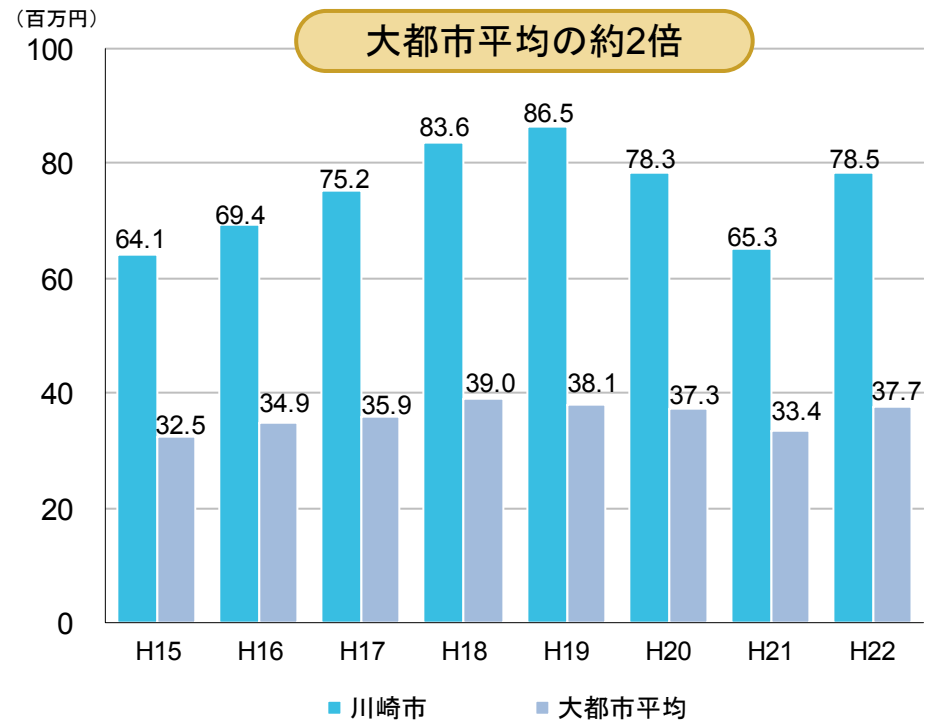
人口1人あたり課税対象所得額は指定都市トップ

人口1人あたり課税対象所得額



※ 平成24年度市町村税課税状況等の調、決算カードに基づき川崎市が算定

従業者1人あたり製造品出荷額等



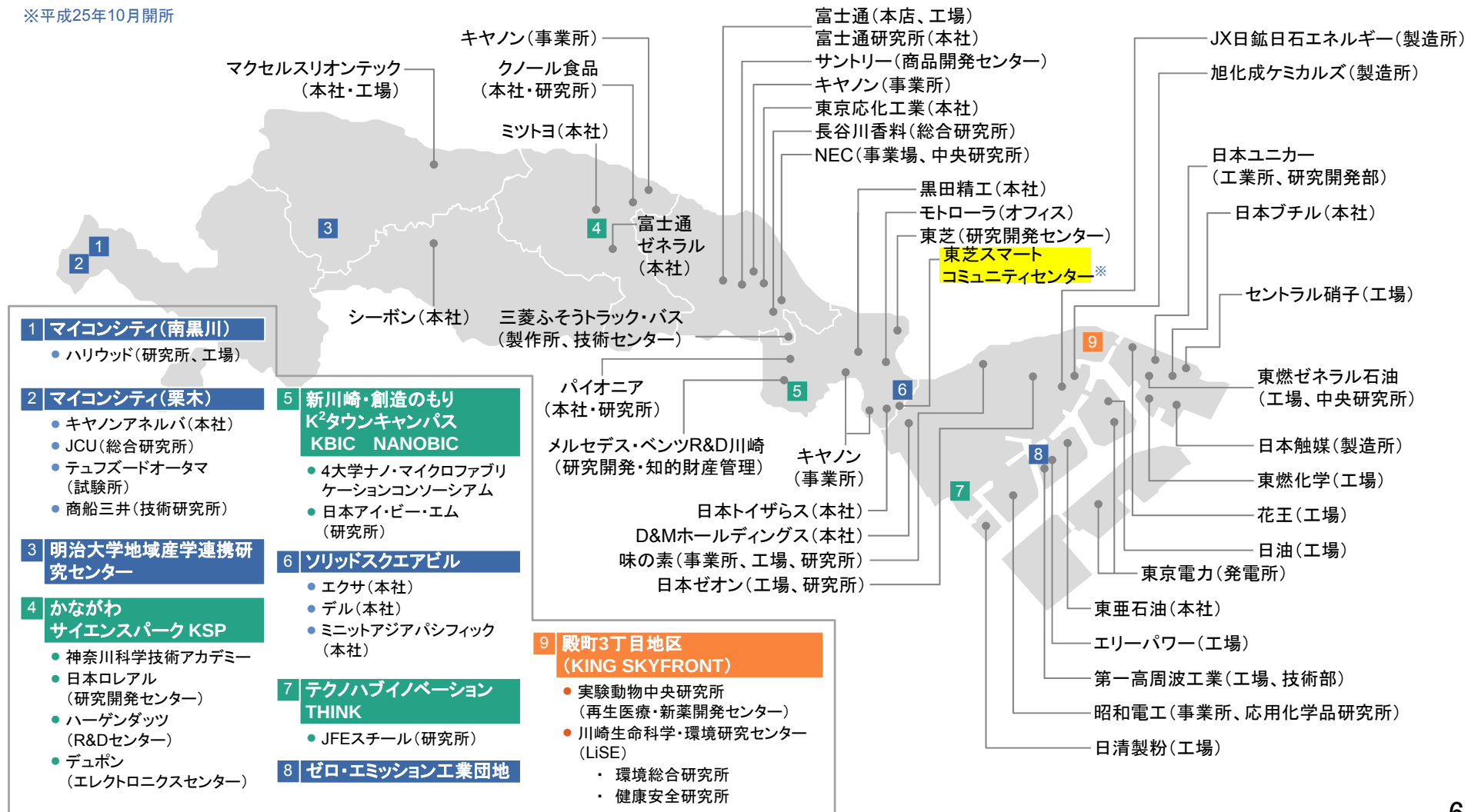
出典: 大都市比較統計年表(平成23年)



川崎市に立地する世界的企業と研究開発機関

200以上の研究開発機関が立地し、研究者・技術者が集結

※平成25年10月開所





環境技術で国際貢献（1）



「環境」と「経済」の好循環を推進、持続可能な社会を地球規模で実現

カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略(CCかわさき)

1 川崎の特徴・強みを活かした環境対策の推進

- 低CO₂ 川崎ブランドの実施
- スマートシティ戦略の推進
- 川崎メカニズム認証制度
- 市内中小企業の地球温暖化対策への支援

2 環境技術による国際貢献の推進

- 国連環境計画(UNEP)連携協調事業
- 川崎国際環境技術展の開催、ビジネスマッチングのフォローアップ
- 環境総合研究所の開設(H25.1月開所)



川崎国際環境技術展2013
(平成25.2月開催)
145団体242ブース、15,200人来場

3 多様な主体の協働によるCO₂削減の取組の推進

- 住宅用再生可能エネルギー設備設置補助
- 電気自動車の普及促進
- 市役所の率先取組の推進(グリーン電力の購入など)

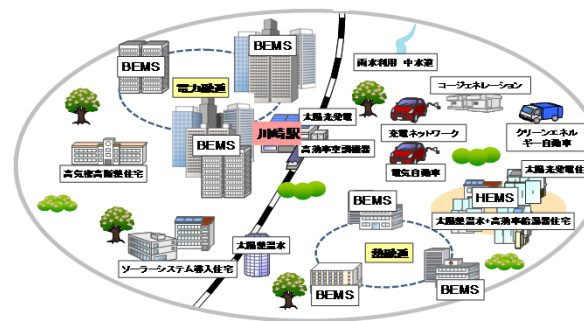
地球温暖化対策推進条例、地球温暖化対策推進基本計画

2020年度までに1990年度における市域の温室効果ガス排出量の25%以上に相当する量の削減を目指す

川崎駅周辺のスマートシティのイメージ

川崎駅周辺を
スマートコミュニティのショーケースに

スマートシティを全市的に展開する構想へ



既存建物も含めた
エネルギーマネジメントの推進

再生可能エネルギー等の利用など、
スマートコミュニティモデルを推進

建物間の電力融通、
熱融通を実現

「かわさきモデル」を構築

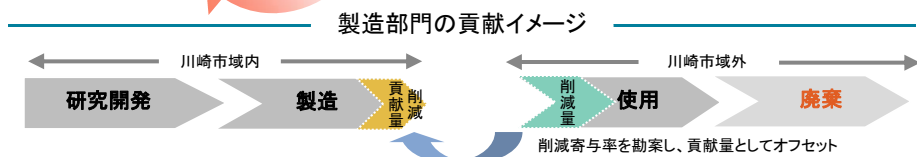
川崎メカニズムの構築

アジア諸国

川崎市

川崎の優れた環境技術による
地球規模での温室効果ガスの
削減貢献

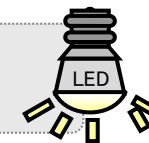
世界や国に先駆け、市内
企業の高度な製品・技術
等による市域外の温室効果
ガスの削減貢献量を算
定・評価し、見える化する
「川崎メカニズム」の構築
に向けた取組



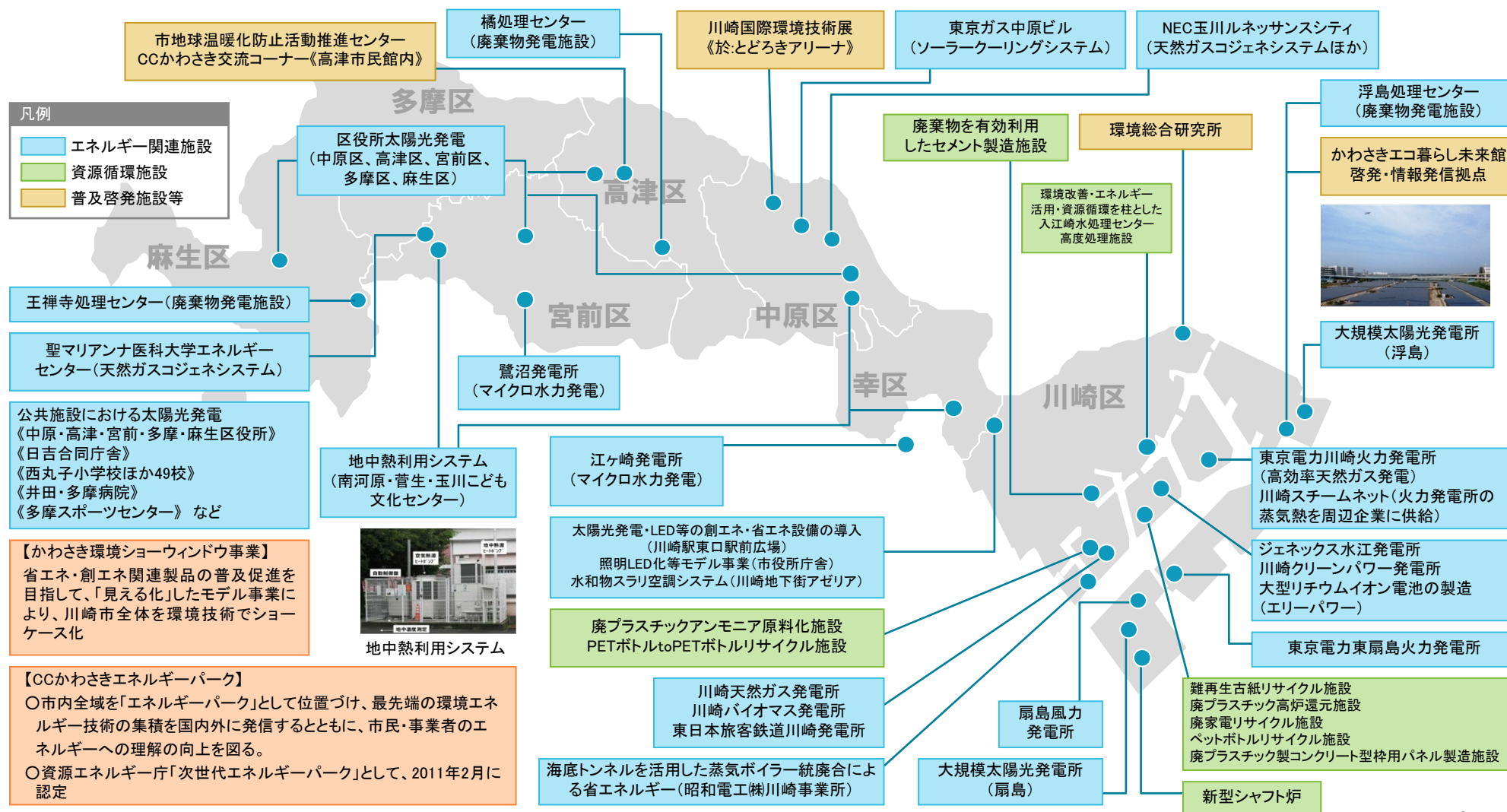


環境技術で国際貢献（2）

商店街エコ化プロジェクト事業実施商店街
《北谷町通り商店会（中原区北谷町）》
《登戸東通り商店会（多摩区登戸）》など35団体



川崎のまち全体で環境技術のショーケース化を推進





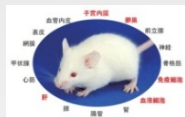
「キング スカイフロント」における国際戦略拠点の形成

羽田空港の対岸に位置する「キング スカイフロント」(約40ha)を中核として、
革新的医薬品・医療機器の開発・製造と健康関連産業の創出を目指す

実中研 再生医療・新薬開発 センター 平成23年7月運営開始



- 再生医療による脊椎損傷やアルツハイマー治療などの先端医療の実現を目指す



「nature」
2009.5.28号

NOGマウス/ヒト化マウス コモンマームセット

川崎生命科学・環境研究センター (LiSE) 平成25年3月運営開始



敷地面積: 約7,000㎡
延べ床面積: 約11,400㎡

- 健康安全研究所、環境総合研究所、民間の研究機関等が入居、生命科学・環境分野のイノベーションの創出を目指す



国立医薬品食品衛生研究所 平成28年度竣工予定



- 健康安全研究所との連携による食品や飲料水の安全確保や市民の生活環境の維持・向上への貢献に期待

(仮称)ものづくりナノ医療イノベーションセンター

平成26年度 竣工予定

- 均質・高付加価値医療を実現するナノ医療技術の開発
- 多様化する社会ニーズに応えるためのソリューション実証研究

ジョンソン・エンド・ジョンソン(株) 川崎サイエンスセンター

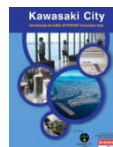
平成26年度 竣工予定

- 高度医療機器安全使用のための医師向け研修
 - 開発中の医療機器の評価試験 等
- ※海外からも含め医師等年間1万人利用想定

(公社)日本アイソトープ協会 平成28年度 竣工予定

- アイソトープ製品の試験・研究開発、供給関連業務、普及啓発等
- 共同利用施設の整備など将来構想を検討

国内外に向けた情報発信



- nature 2012年9月20日号グローバル版に川崎特集「SPOTLIGHT ON KAWASAKI」が掲載
- Science 2013年8月2日号に川崎特集「KING SKYFRONT ~Introducing the KING SKYFRONT Innovation Hub~」が掲載
- キング スカイフロントや市内企業、研究機関などを紹介

科学雑誌「nature」、
「Science」に掲載



国際戦略総合特区の推進主体である
『ライフイノベーション地域協議会』

京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略 総合特区に指定

- ライフイノベーションの国際戦略拠点形成を推進するため、神奈川県、横浜市、川崎市が共同で取組
- 平成23年12月22日指定



新川崎・創造のもりにおける先端研究開発拠点の形成



第1期事業(約1.6ha)

「K²タウンキャンパス」平成12年7月開設



慶應義塾大学の先導的研究施設

- 16の研究プロジェクトを展開

代表例

小池康博教授の「世界最速プラスチック光ファイバーと高精細・大画面ディスプレイを用いたFace-to-Faceコミュニケーションプロジェクト」が内閣府の「世界のトップを目指す30の最先端研究課題及びそれを実施する中心研究者」に採択

第2期事業(約0.7ha)

「かわさき新産業創造センター(KBIC)」
平成15年1月開設

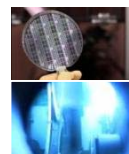


起業家精神を持った個人や新事業開発を目指す中小・中堅企業等に対し、創業支援や成長支援などを通じて地域経済の活性化を図るベンチャービジネス創出拠点

- 19社5研究室が入居

代表例

市内中小企業と慶應義塾大学が連携し、次世代の革新的な医療診断デバイスの開発に向けた共同研究を実施



第3期事業第1段階(約0.88ha)

ナノ・マイクロ産学官共同研究施設「NANOBIIC」
(Global Nano Micro Technology Business Incubation Center)
平成24年4月開設(一部は同年9月)



NANOBIIC 研究棟

NANOBIIC 大型クリーンルーム(約750㎡)
(クリーンルーム・ナノレベルの精密な加工が必要不可欠な、ホコリやゴミなどの浮遊物質がないクリーンな状態を保った空間)

ナノ・マイクロ領域の「加工～試作～計測～評価」の一連の作業が可能な大型クリーンルームを完備

- 4大学(慶大・早大・東工大・東大)ナノ・マイクロファブリケーションコンソーシアムや、東京大学、日本IBMの共同研究プロジェクト、ナノテクベンチャー企業等が入居
- クリーンルーム内に4大学コンソーシアムが有する最先端の研究機器を導入し、企業等に開放。研修講座も実施



ナノ・マイクロ技術を核とした
ライフサイエンス・環境分野の研究開発、産業化

ライフサイエンス分野

がん細胞を狙って投薬



環境・エネルギー分野

太陽電池のエネルギー効率を2倍に





かわさき基準(KIS)に基づく福祉産業の振興



『かわさき基準(KIS) (Kawasaki Innovation Standard)』とは

住み慣れたまちで、誰もが自立して楽しく安心して暮らせることを目指した川崎市独自の福祉製品のあり方を示した基準

背景と必要性

- 中国をはじめとしたアジアの高齢化
- 産業面からの生活支援の必要性
- 成長市場と見込まれる産業の振興
- 高度なものづくり技術の活用

ニーズを製品開発につなぐ
新たな基準を定め、その基準
に基づく福祉製品の認証

かわさき基準推進協議会 による評価・認証

かわさき基準がもたらす効果

- 中国をはじめとしたアジアで拡大する福祉機器市場において高度なものづくり技術を活かし主導的に事業展開
- 川崎を福祉機器産業の中心拠点として競争力ある製品創出を促進

これまでの実績

平成20年度	電動車いす「吉田いす」、音声拡聴器「クリアボイス」他、11製品を認証
平成21年度	障害者用防寒着「らくらくベスト・ひざ掛け」他、17製品を認証
平成22年度	移乗用ボード「らくらくボード」他、24製品を認証
平成23年度	階段昇降機「オットーリフト」他、9製品を認証
平成24年度	障害者等も使用可能なHP作成ソフト「ICT治具」他、23製品を認証



クリアボイス



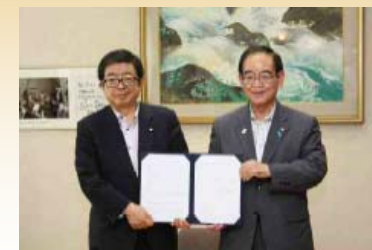
オットーリフト



ICT治具

今後の取組

- ウェルフェアイノベーションの推進に関する基本方針の策定
 - 福祉・介護産業の振興を推進するための取組方針を設定し、現在川崎市で実施している取組の拡充や今後実施すべき新たな取組を今年度中に定め、計画的にウェルフェアイノベーションの推進を図る
- ウェルフェアイノベーションプラットフォームの形成
 - 福祉・介護関係者、企業、専門家等が一体となって、利用者ニーズを反映した製品開発を進めるため、福祉と産業のマッチングを推進するプラットフォームを設置し、高齢化に伴う課題解決と人々の幸福を支える福祉産業の発展に取り組む



平成25年7月19日大和ハウス工業株式会社と協定の締結

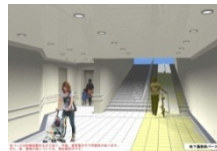


都市拠点・ネットワークの整備

魅力ある都市拠点の整備 利便性の高いコンパクトなまちづくり

登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区整備

- 登戸土地区画整理事業
- 向ヶ丘遊園駅連絡通路の整備



登戸・向ヶ丘遊園駅
周辺

溝口駅周辺地区整備

- 溝口駅南口広場の整備

新百合ヶ丘

溝口駅周辺

武蔵小杉駅周辺

新川崎・鹿島田駅
周辺

川崎駅周辺

武蔵小杉駅周辺地区整備

- コンベンション施設の整備に向けた取組

都市機能の集積を図り、
利便性の高いコンパクトなまちづくりを進める



JR横須賀線武蔵小杉駅
(H22.3.13開業)



新川崎・鹿島田駅周辺地区整備

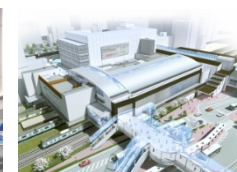
- 鹿島田駅西部地区市街地再開発事業
- 鹿島田跨線歩道橋・交通広場等整備事業



川崎駅周辺地区整備

回遊性・利便性の高い魅力ある都市空間形成へ

- 北口自由通路と新たな改札口の整備(平成29年度完成予定)



基幹的な交通網の整備

連続立体交差事業

- 京浜急行大師線連続立体交差事業について、産業道路の立体交差化完成に向け、整備を推進
- JR南武線連続立体交差事業(尻手駅～武蔵小杉駅)の実施に向けた調査・検討

川崎縦貫道路

- I 期区間の大師ジャンクションから国道15号までの整備を促進
- II 期計画の早期の具体化に向けた取組を推進

2

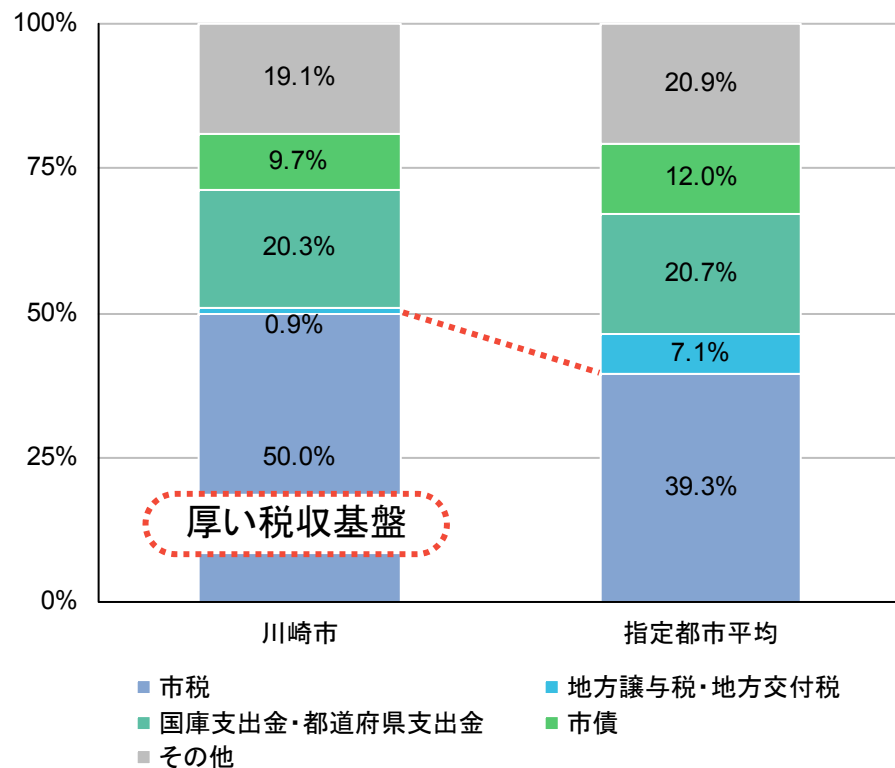
財政の現状分析

- (1) 指定都市との財政状況比較
- (2) 税収構造の分析
- (3) 歳出構造の分析(普通会計)
- (4) 地方財政健全化指標、プライマリーバランス
- (5) 市債残高の推移
- (6) 公営企業会計の状況
- (7) 川崎市の連結バランスシート(平成24年度末時点)
- (8) 平成25年度予算



指定都市との財政状況比較

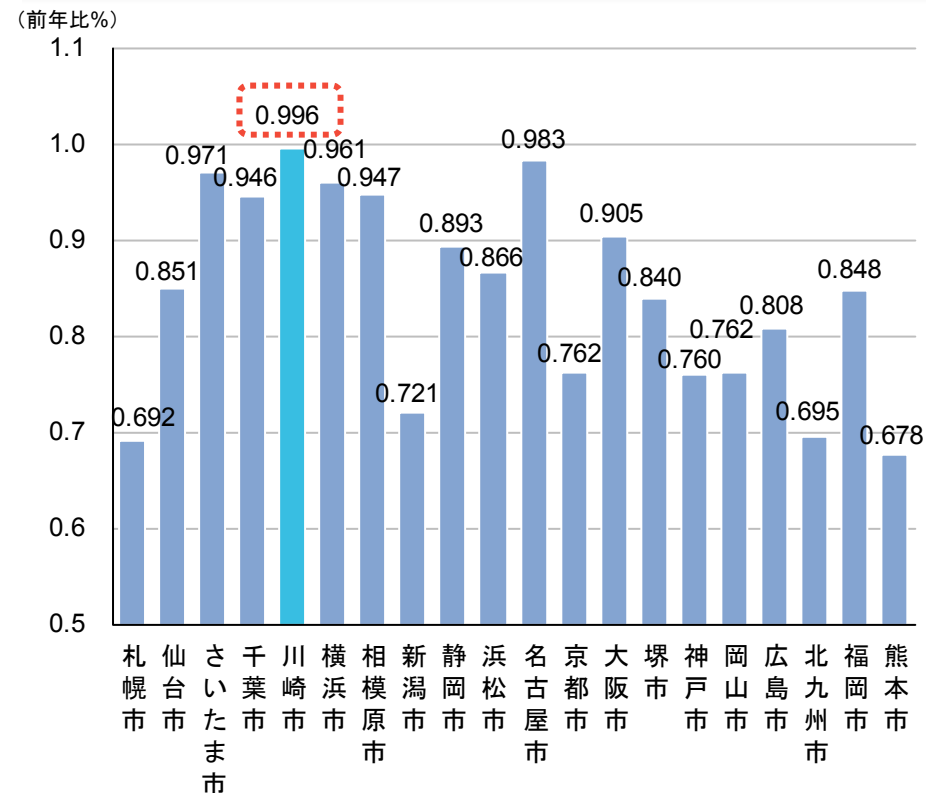
高い自主財源比率 (平成24年度普通会計決算)



自主財源比率 65.4%

財政力指数の状況

(川崎市は、平成23年度から普通交付税交付団体)



H25年度財政力指数 0.996

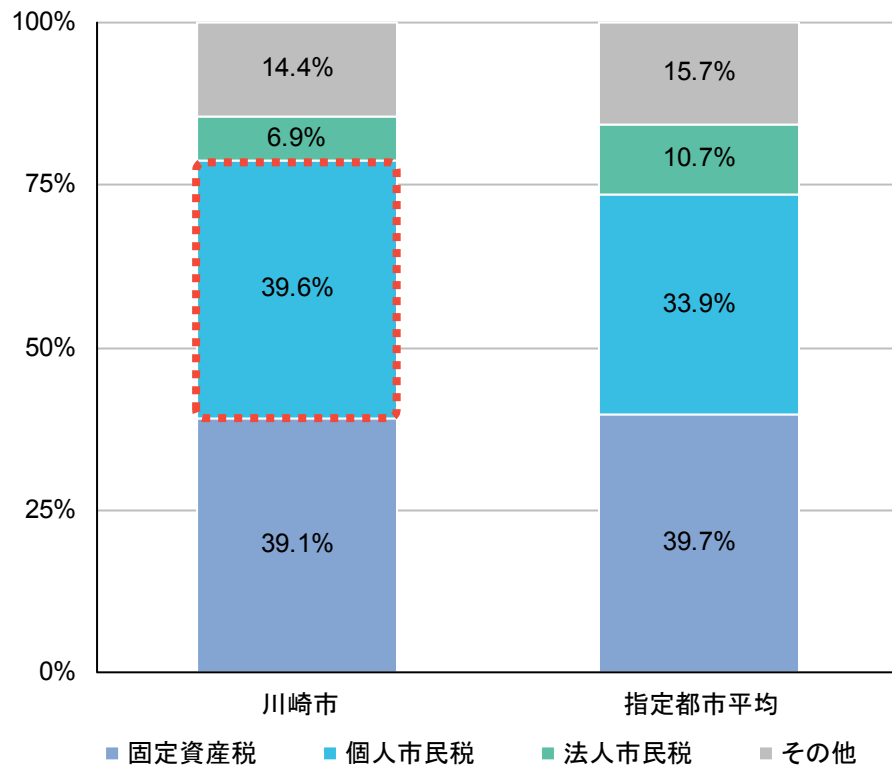
※ 各都市への照会に基づき川崎市が算定

※ H23～25年度の平均値



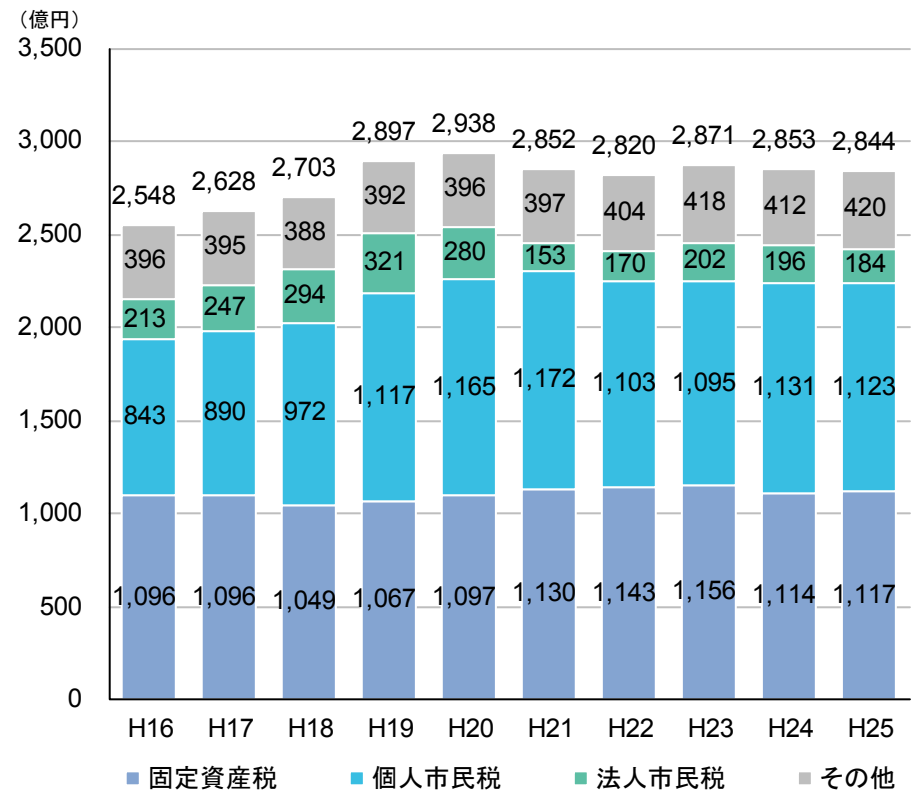
税収構造の分析

平成24年度決算に基づく指定都市比較



個人市民税の構成比が高い

税収構造の推移

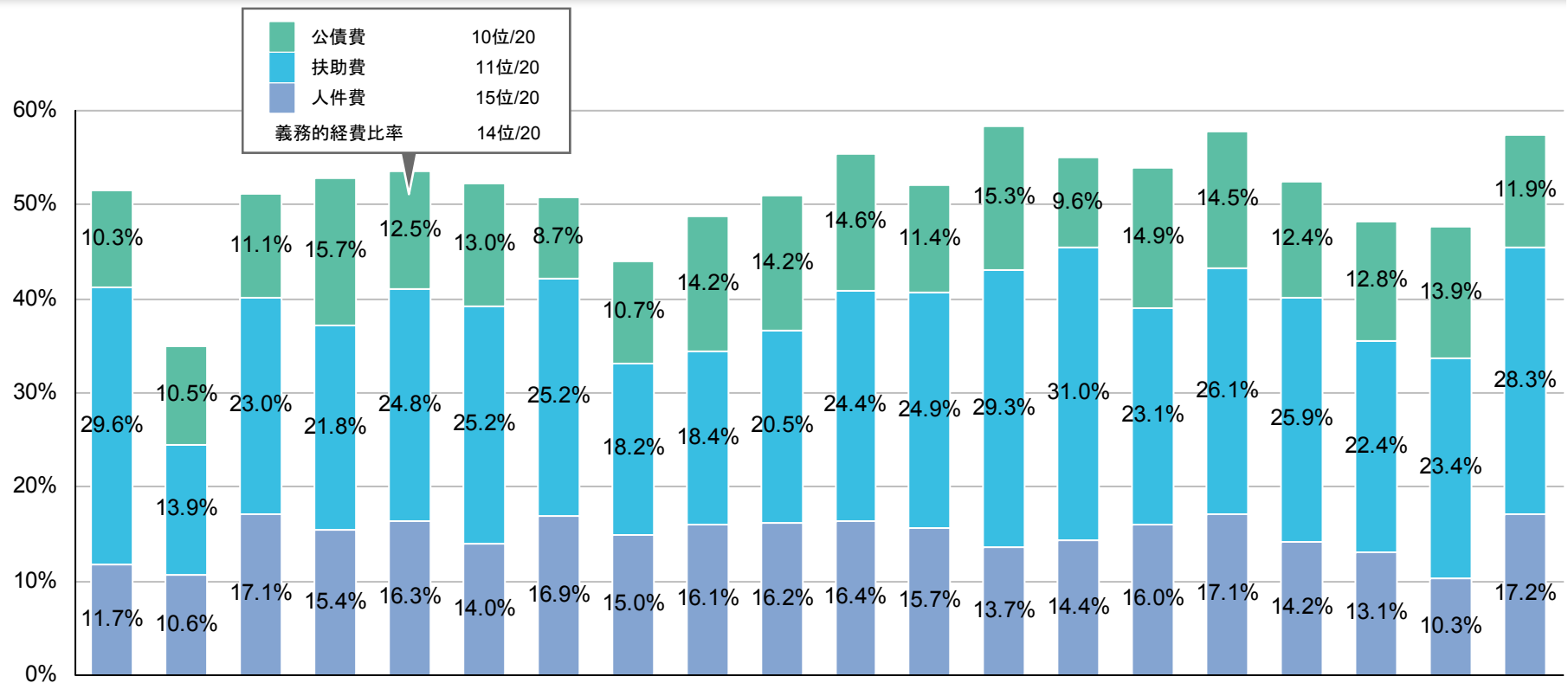


※ H24までは決算、H25は当初予算



歳出構造の分析（普通会計）

歳出に占める義務的経費比率の指定都市比較（H24年度決算）



義務的
経費比率

札幌市	仙台市	さいたま市	千葉市	川崎市	横浜市	相模原市	新潟市	静岡市	浜松市	名古屋市	京都市	大阪市	堺市	神戸市	岡山市	広島市	北九州市	福岡市	熊本市
51.6%	35.0%	51.2%	52.9%	53.6%	52.2%	50.8%	43.9%	48.7%	50.9%	55.4%	52.0%	58.3%	55.0%	54.0%	57.7%	52.5%	48.3%	47.6%	57.4%

前年度比較

公債費 1.2ポイント減(13.7%→12.5%)・・・前年度に減債基金積立金の積立不足を解消したことによる既往償還元金の減少などによる減
扶助費 1.0ポイント増(23.8%→24.8%)・・・制度改正により児童(子ども)手当が減となったものの、保育事業費の増加などによる増
人件費 0.5ポイント減(16.8%→16.3%)・・・職員数の削減などによる減

義務的経費比率は対前年度比0.7ポイント減少(54.3%⇒53.6%)



地方財政健全化指標、プライマリーバランス

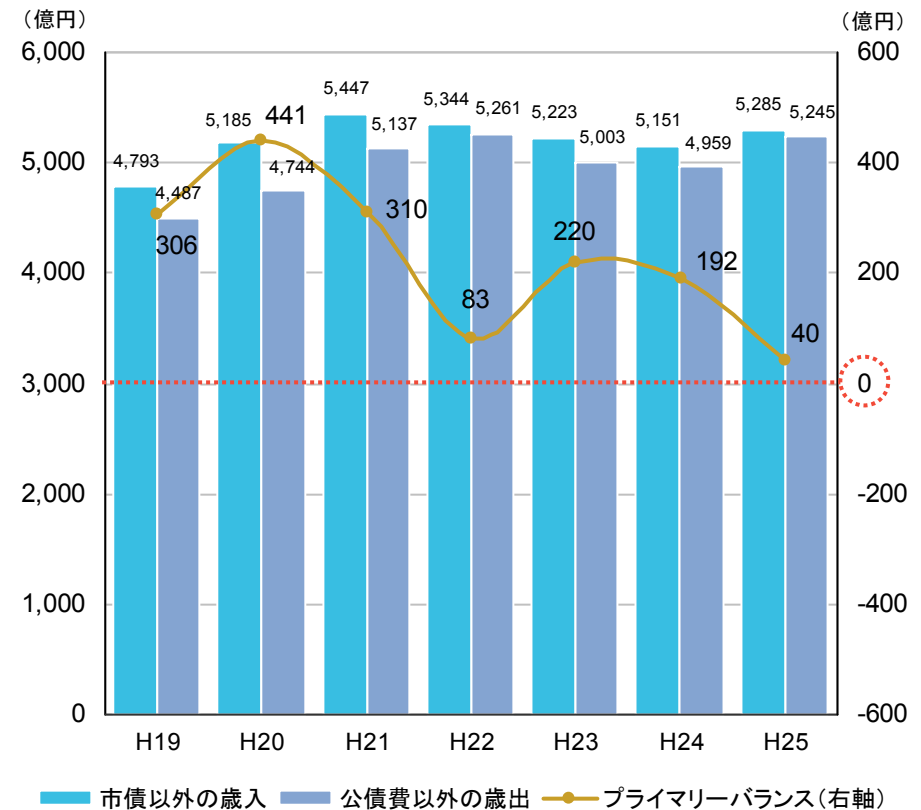
地方財政健全化指標

地方財政健全化指標	川崎市 H24年度決算	【参考】 早期健全化基準
実質赤字比率	— 【赤字となっていない】	11.25%
連結実質赤字比率	— 【赤字となっていない】	16.25%
実質公債費比率	10.1% (10.9%)	25.0%
将来負担比率	106.3% (111.2%)	400.0%
資金不足比率 (企業会計)	— 【資金不足となっていない】	20.0%

※()内の数字は、H23年度決算

健全化指標については、
いずれも早期健全化団体となる基準をクリア

一般会計基礎的財政収支



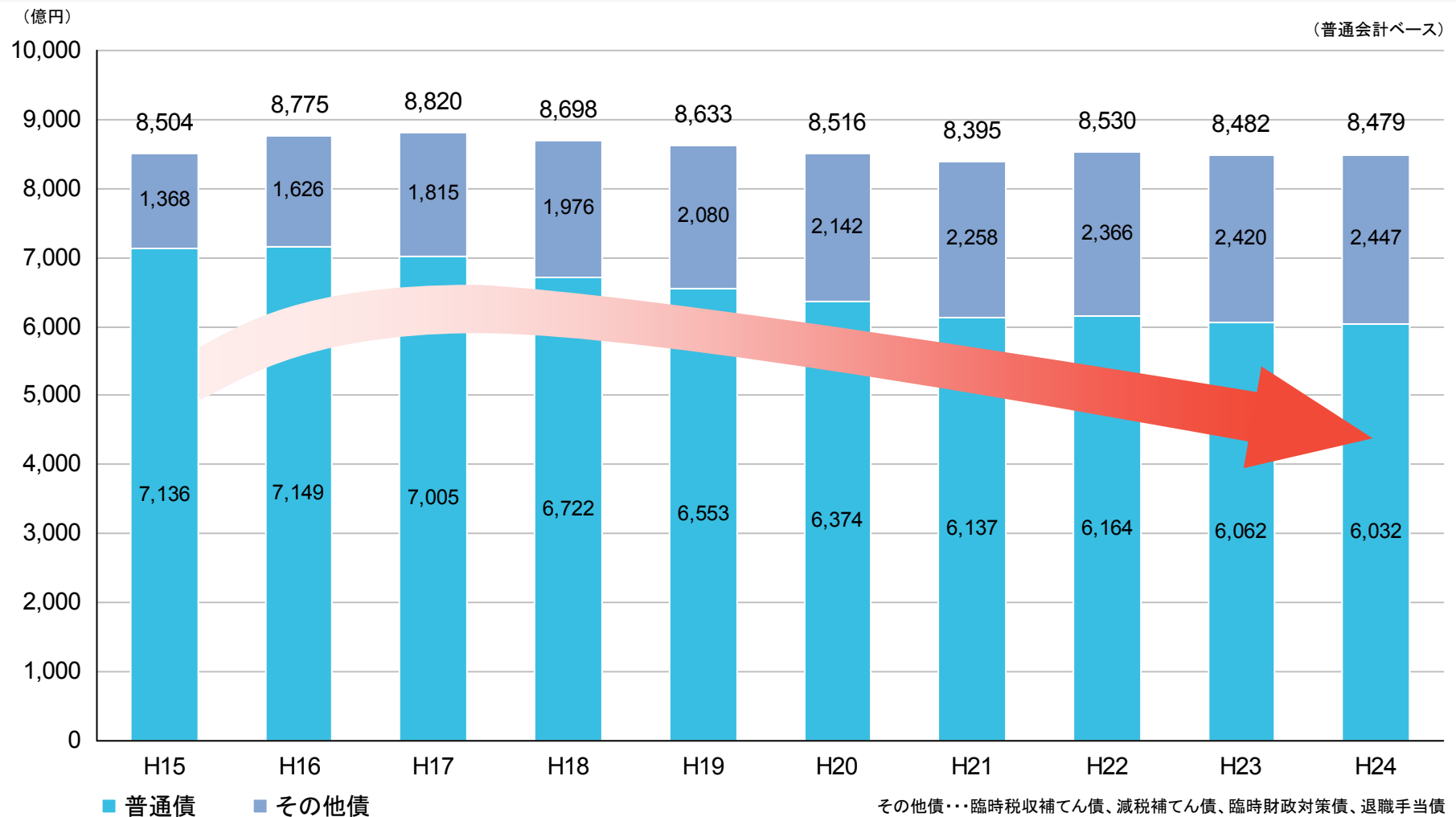
※H24年度までは決算、H25年度は当初予算

平成17年度以降
プライマリーバランスは黒字



市債残高の推移

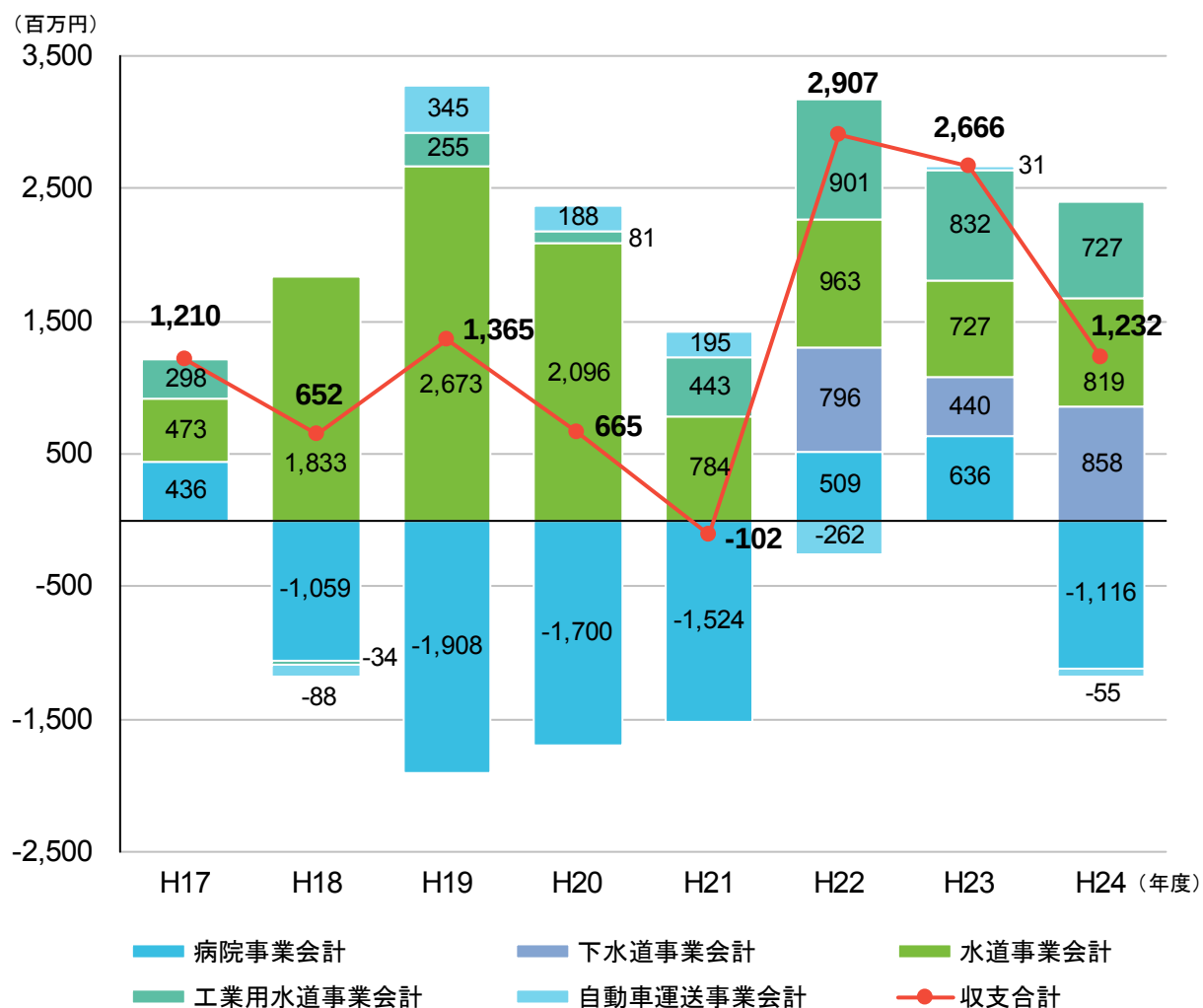
普通債残高は平成16年度をピークに減少傾向





公営企業会計の状況

各公営企業会計別当年度純利益(損失)の推移



各会計の経営健全化計画

- 病院事業経営健全化計画
 - 23年度に第3次経営健全化計画を策定し、さらなる経営健全化を推進
- 水道・工業用水道事業の再構築計画
- 下水道事業中期経営計画
 - 22年度に上下水道局を設置。引き続き、管理部門・窓口部門等の執行体制の見直しを行い、経営を効率化
- 川崎市バス事業ステージアップ・プラン
 - 計画期間最終年度の単年度収支均衡及び持続可能な経営基盤の確立

各計画に基づきサービスの向上と経営健全化に取り組んでいる。

- 病院事業会計については、井田病院再編整備に伴う減価償却費、固定資産除却費の増加等により、3年ぶりに赤字となった。
- 下水道事業会計は、平成22年度から3年連続の黒字を確保



川崎市の連結バランスシート（平成24年度末時点）

連携協力団体との連結貸借対照表（基準モデル）

項 目	平成24年度 A	平成23年度 B	A - B
資産合計	5兆5,290億円	5兆 5,016 億円	274億円
金融資産	3,919億円	3,559 億円	360億円
非金融資産	5兆1,371億円	5兆 1,457 億円	△86億円
負債合計	1兆 7,458 億円 (資産合計に占める割合 31.6%)	1兆 7,205 億円 (資産合計に占める割合 31.3%)	253億円
流動負債	2,117億円	1,772 億円	345億円
非流動負債	1兆5,342億円	1兆 5,433 億円	△91億円
純資産合計	3兆 7,832 億円 (資産合計に占める割合 68.4%)	3兆 7,811 億円 (資産合計に占める割合 68.7%)	21億円

- 平成23年度決算分から基準モデルに基づく財務諸表を作成
- 資産合計は前年度比274億円の増
- 負債合計は前年度比253億円の増
- 純資産合計は前年度比21億円の増
- 資産合計に占める純資産合計の割合は68.4%(前年度は68.7%)

※ 全会計に加え、一部事務組合、地方公社及び第3セクター等の貸借対照表を連結
 ※ 各項目を四捨五入しているため、内訳と合計が一致しないことがあります。



平成25年度予算

1 平成25年度予算 ～「新たな飛躍」予算～

予算編成のポイント 一般会計の予算規模は5,984億円(前年度比0.5%増)

1. 「川崎の新たな飛躍」に向けた取組を全力で推進
2. 自治基本条例に基づく市民本位のまちづくりに向けた取組を一層推進
3. 行財政改革の取組を確実に反映

一般会計歳入 (百万円・%)						
区分	平成25年度		平成24年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
市税	284,398	47.5	279,443	46.9	4,955	1.8
譲与税・交付金	23,535	3.9	24,005	4.0	△470	△2.0
地方交付税	1,461	0.2	1,537	0.3	△76	△5.0
国・県支出金	117,478	19.7	121,133	20.3	△3,655	△3.0
市債	69,904	11.7	71,380	12.0	△1,476	△2.1
その他	101,633	17.0	98,134	16.5	3,499	3.6
合計	598,409	100.0	595,632	100.0	2,777	0.5

- **市税** : 家屋の新増築等による固定資産税の増、納税者数の増加による個人市民税の増により、市税全体では50億円の増
- **市債** : 臨時財政対策債の減などにより、15億円の減
- **人件費** : 職員数の削減や、共済費の減などにより、11億円の減
- **扶助費** : 制度改正により児童手当費が減となるものの、保育所受入枠の拡大による民間保育所運営費の増などにより、35億円の減

2 「川崎の新たな飛躍」に向けた取組

- 災害に強いまちづくりに向けた取組 ...総予算額15,768百万円
- 京浜臨海部における国際戦略拠点の形成 ...総予算額 2,137百万円
- カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略2013 ...総予算額 4,338百万円
- 子育て環境の充実 ...総予算額53,470百万円
- 高齢者施策の充実 ...総予算額77,593百万円
- 経済・雇用対策の充実 ...総予算額89,073百万円 など

一般会計歳出(性質別) (百万円・%)						
区分	平成25年度		平成24年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
義務的経費	314,230	52.5	309,245	51.9	4,985	1.6
人件費	95,954	16.0	97,027	16.3	△1,073	△1.1
扶助費	144,332	24.1	140,821	23.6	3,511	2.5
公債費	73,944	12.4	71,397	12.0	2,547	3.6
投資的経費	89,538	15.0	90,709	15.2	△1,171	△1.3
その他経費	194,641	32.5	195,678	32.9	△1,037	△0.5
合計	598,409	100.0	595,632	100.0	2,777	0.5

3 国の補正予算への対応

- 国の動き
「日本経済再生に向けた緊急経済対策」(補正規模 約10兆円)
- 本市の対応
平成25年度当初予算5,984億円に加えて
平成24年度、25年度補正予算などにより130億円の対応
⇒ 15か月予算としては6,024億円の規模

3

行財政改革の取組

- (1) 行財政改革の取組
- (2) 財政フレーム
- (3) 出資法人の状況
- (4) 土地開発公社の状況



行財政改革の取組

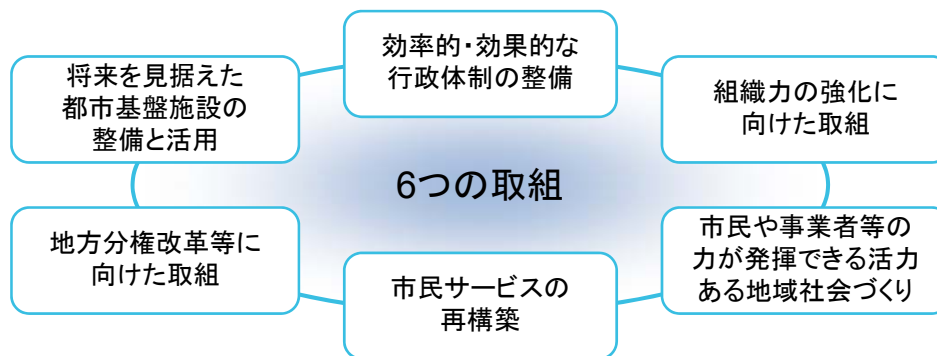
「川崎市新たな行財政改革プラン ～第4次改革プラン～」(平成23～25年度)を策定

これまでの取組(平成14～24年度)

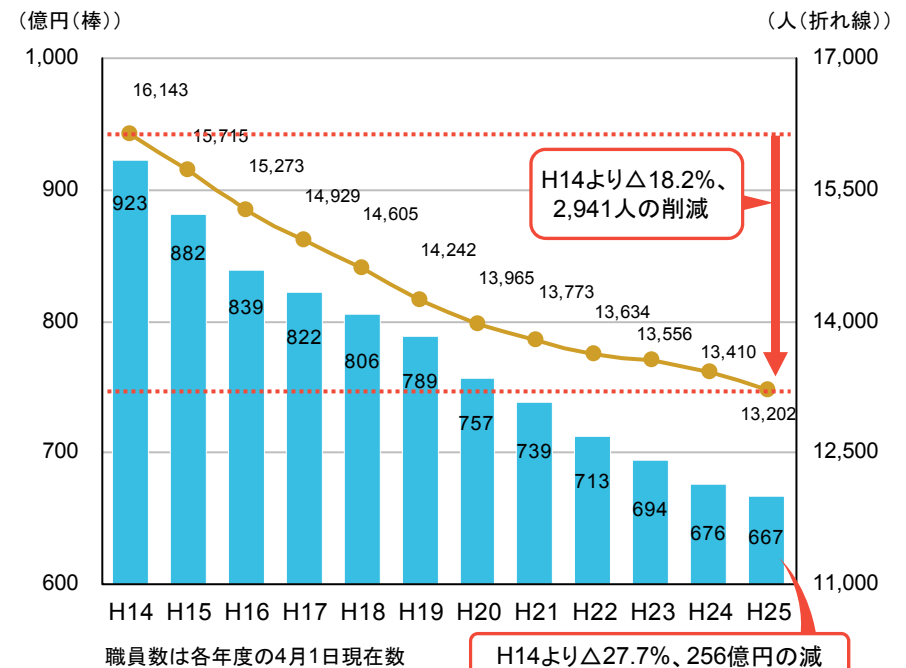
24年度までで2,941人の職員削減などにより、787億円の改革効果

新たな行財政改革プラン ～第4次改革プラン～ (平成23～25年度)

3年間で約600人の職員削減(減員1,000人、増員400人)



職員数と職員給の推移



市民サービスの再構築

多様化する市民ニーズへの対応

安全・安心

医療体制の充実・強化



福祉・教育

待機児童対策として認可保育所109園を新たに開設



環境

ミックスペーパーやプラスチック製容器包装の分別収集実施





財政フレーム

健全な財政構造の構築に向けた取組目標

1. 平成26年度には減債基金からの新規借入を行うことなく収支均衡を図る
2. 継続的な収支均衡と安定的なプライマリーバランスの黒字の確保を図る
3. 資産マネジメント(資産保有量の最適化・施設の長寿命化等)の推進や市債の適正な活用により将来負担の適切な管理を行う

一般財源ベース (億円)					
項目/年度	H23予算	H24見込	H25見込	H26見込	H27見込
歳入合計 A	3,494	3,580	3,712	3,803	3,796
市税	2,796	2,809	2,832	2,857	2,868
地方譲与税	31	30	30	29	29
利子割交付金～ ※1	171	170	165	172	179
地方交付税	5	5	5	5	5
市債	185	185	185	185	185
減債基金借入金(過年度分)	150	258	353	413	413
その他	156	123	142	142	117
歳出合計 B	3,602	3,710	3,831	3,860	3,853
人件費	895	872	857	835	828
扶助費	443	484	511	520	530
公債費	722	684	716	714	728
投資的経費	175	175	166	175	175
減債基金借入金返還金	150	258	353	413	413
その他経費	1,217	1,237	1,228	1,203	1,179
減債基金からの新規借入れ	108	95	60	0	0
施策調整・事業見直し C ※2	0	- 35	- 59	- 57	- 57

※1 県税の一部が交付されるもので、利子割、配当割、株式等譲渡所得割、地方消費税、ゴルフ場利用税、自動車取得税、軽油引取税の7種類の交付金の総額

※2 A-Bの収支不足はCで対応。



出資法人の状況

役割や事業について検証しながら、法人の統廃合、市の財政的・人的関与の見直しを実施
(平成24年度末(財)川崎市心身障害者地域福祉協会、(財)川崎市水道サービス公社 解散)

見直しの基本的な視点

- 出資法人が実施している事業の必要性(市民ニーズ)はあるのか
- 事業の必要性はあっても行政の関与の必要性はあるのか
- 行政関与の必要性が認められても誰が行うことが最も効率的で、効果的＝最適な実施主体＝なのか

土地開発公社・住宅供給公社

- 平成24年度の収支は、土地開発公社は赤字(準備金で補てん)、住宅供給公社は黒字
- 平成22年4月に2公社の事務部門の統合を行うなど簡素で効率的な執行体制の構築に向けた取組を推進

財団法人

(うち、市出資比率50%以上 12法人について記載)

- 平成24年度の収支は6法人が黒字、6法人が赤字
- 公共サービスの担い手としての必要性等を検討のうえ、引き続き経営改善に向けた取組を推進

株式会社

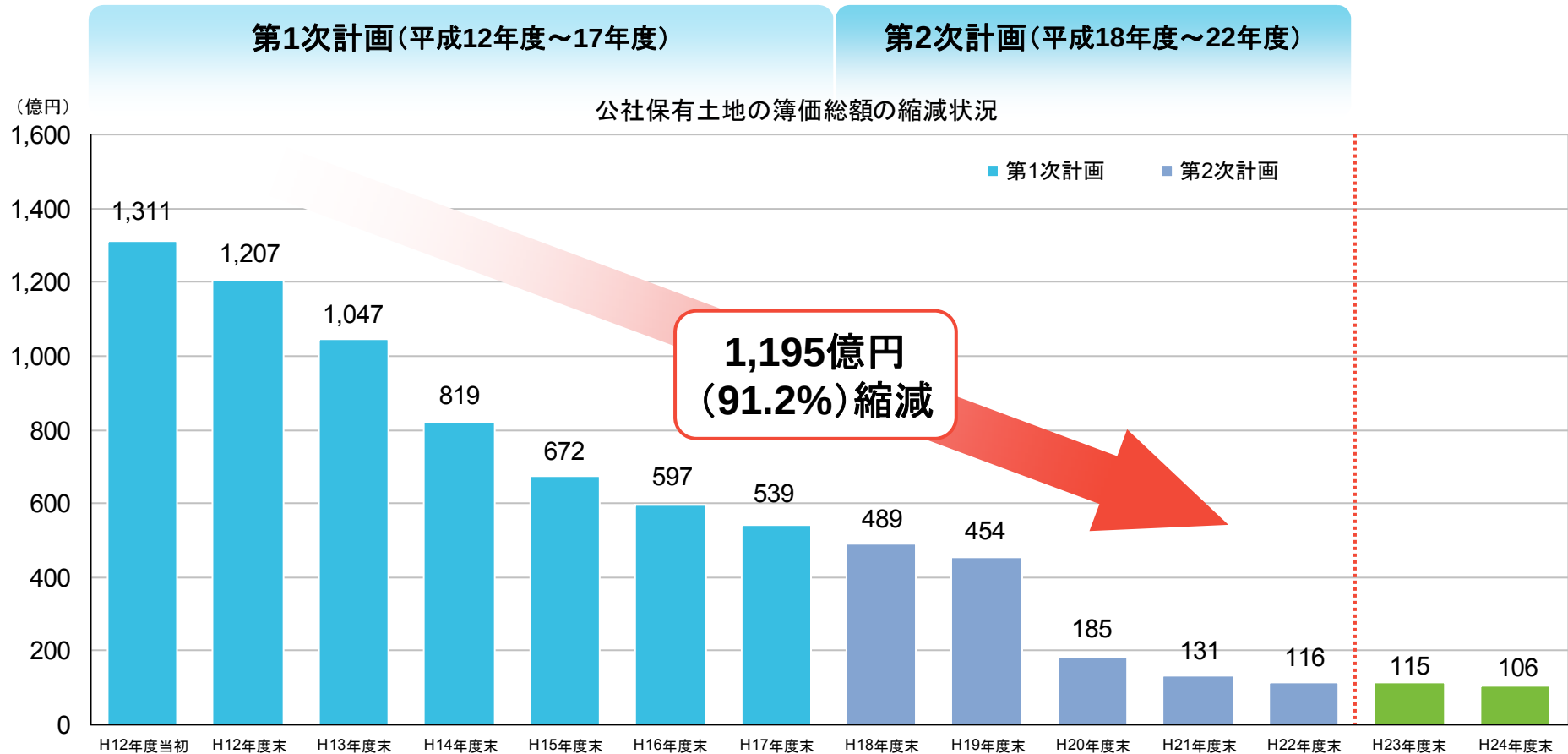
(うち、市出資比率50%以上 3法人について記載)

- 平成24年度の収支は3法人すべて黒字
- 新たな行財政改革プランでは、市場原理・競争原理に基づき法人が主体的に見直しを行うべきであるという基本的な考え方に立ち、引き続き経営改善・自立化に向けた取組を推進



土地開発公社の状況

土地開発公社経営健全化計画による取組結果



1,195億円
(91.2%)縮減

「水江町地内公共用地」の処理により大幅に縮減
平成20年1月に第2次計画を変更

4

川崎市債の管理

- (1) 平成25年度川崎市債発行計画
- (2) 川崎市公募債発行実績
- (3) 公債費等・市債発行額・残高に関する将来推計
- (4) 市債に関する取組
- (5) 川崎市ホームページ



平成25年度川崎市債発行計画

- 全会計合計借入予定額は1,672億円：うち民間資金合計額は1,407億円（全体の84.1%）
- 市場公募債の発行予定総額は1,000億円（全体の59.8%）：うち川崎市個別発行分は740億円（全体の44.3%）
- 銀行等引受債の発行予定総額は407億円（全体の24.3%）
- 市債償還の平準化や市場のニーズに応える観点などから、フレックス枠（中長期）60億円を設定
- 中期、長期、超長期の構成比は33%:33%:34%

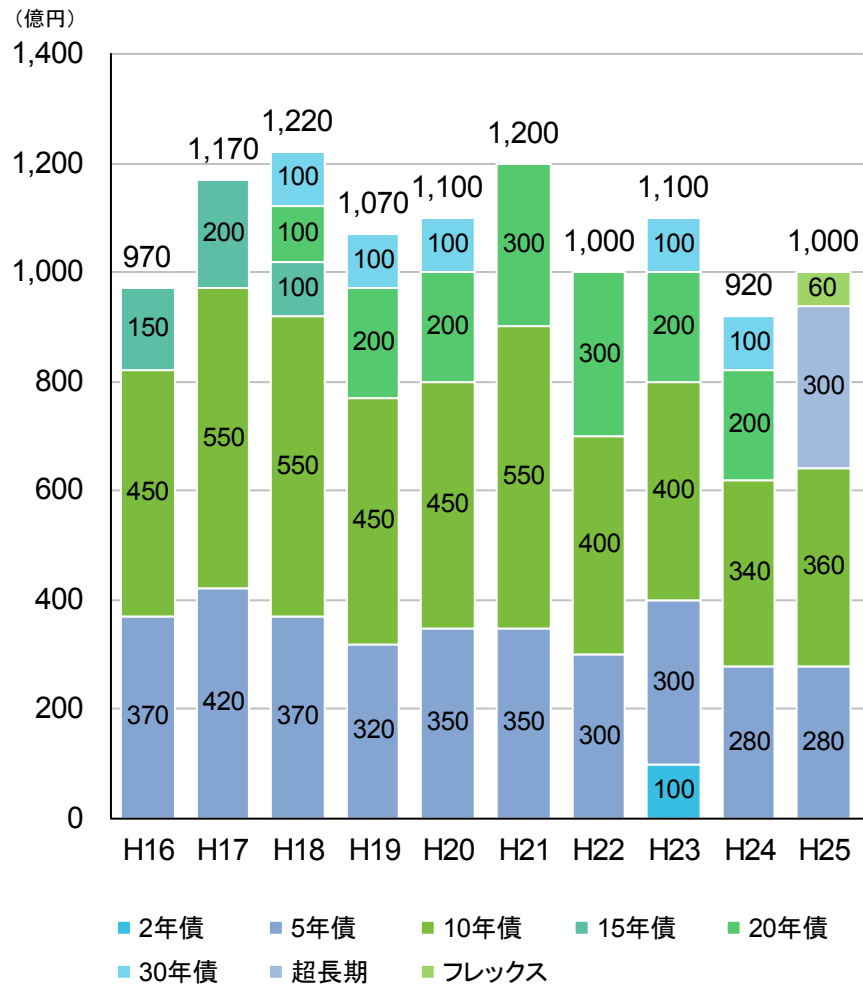
区分			発行年限	発行総額 【億円】	25年								26年			出納整 理期間 ほか	スポット 発行	
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月			3月
市場公募債	川崎市個別発行	全国型市場公募地方債	5年	280	70			70			70			70				
			10年	100										100				
			超長期	300	100	100					100							
			フレックス （中長期）	60													60	
	共同発行	10年	260		50	50		50	30		50		30					
銀行等引受債	証券又は証書発行	5年	214											9	205			
		10年	193						50						33	110		
		超長期	0															
民間資金合計				1,407	※4月末日現在（超長期は5月1日発行）													

※ 1月までは実績（超長期はスポット発行）



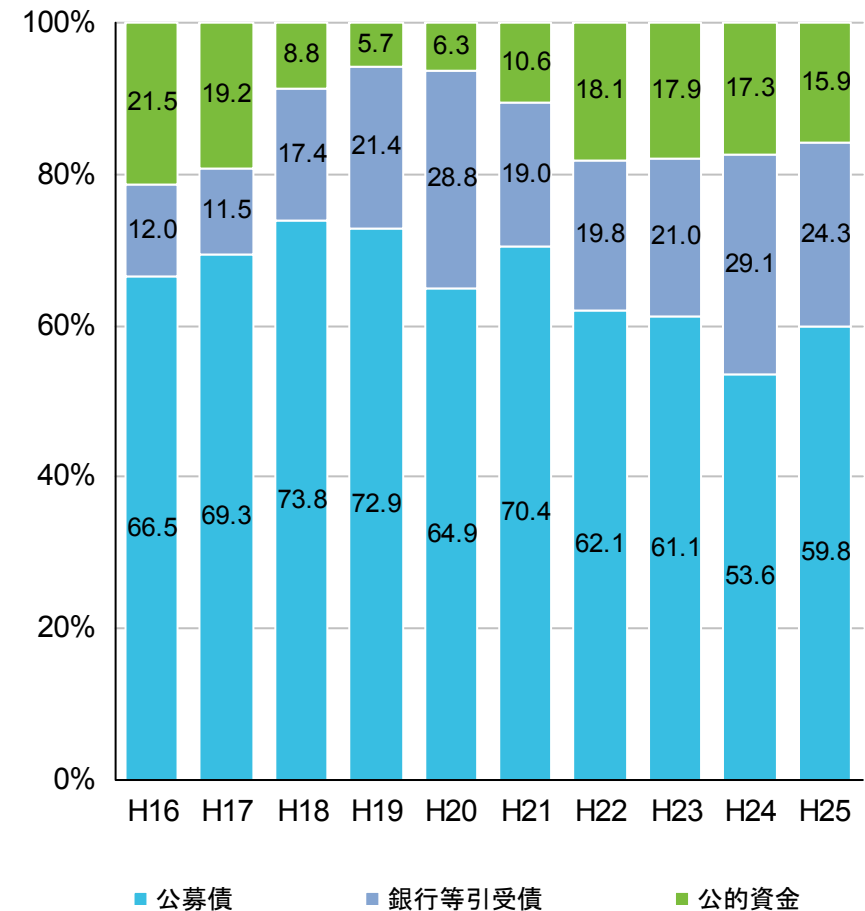
川崎市債発行実績

川崎市公募債発行額の推移



※ H25は計画

資金区分別の発行割合の推移

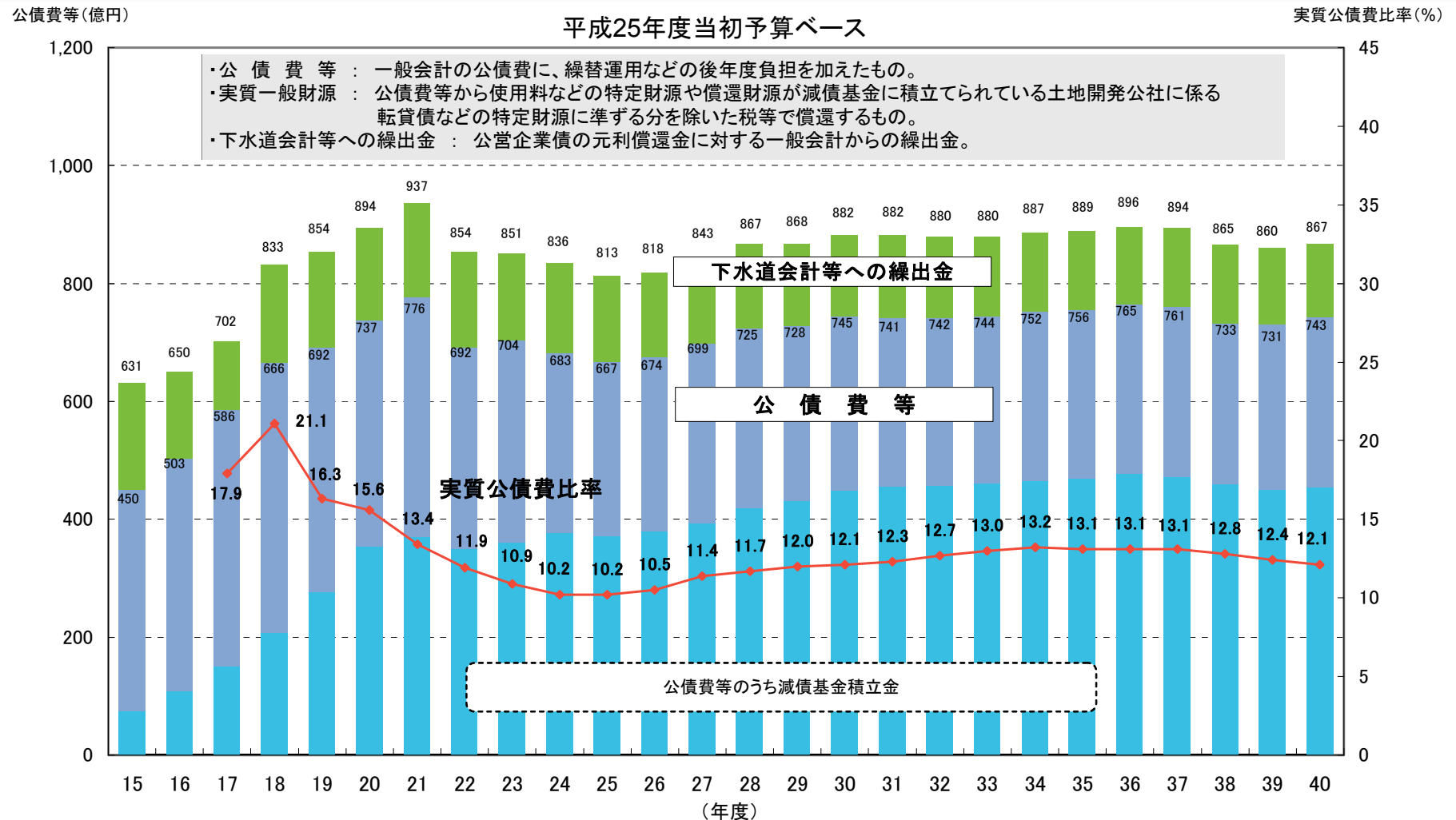


※ H25は計画



公債費等に関する将来推計

公債費等の推移(実質一般財源ベース)

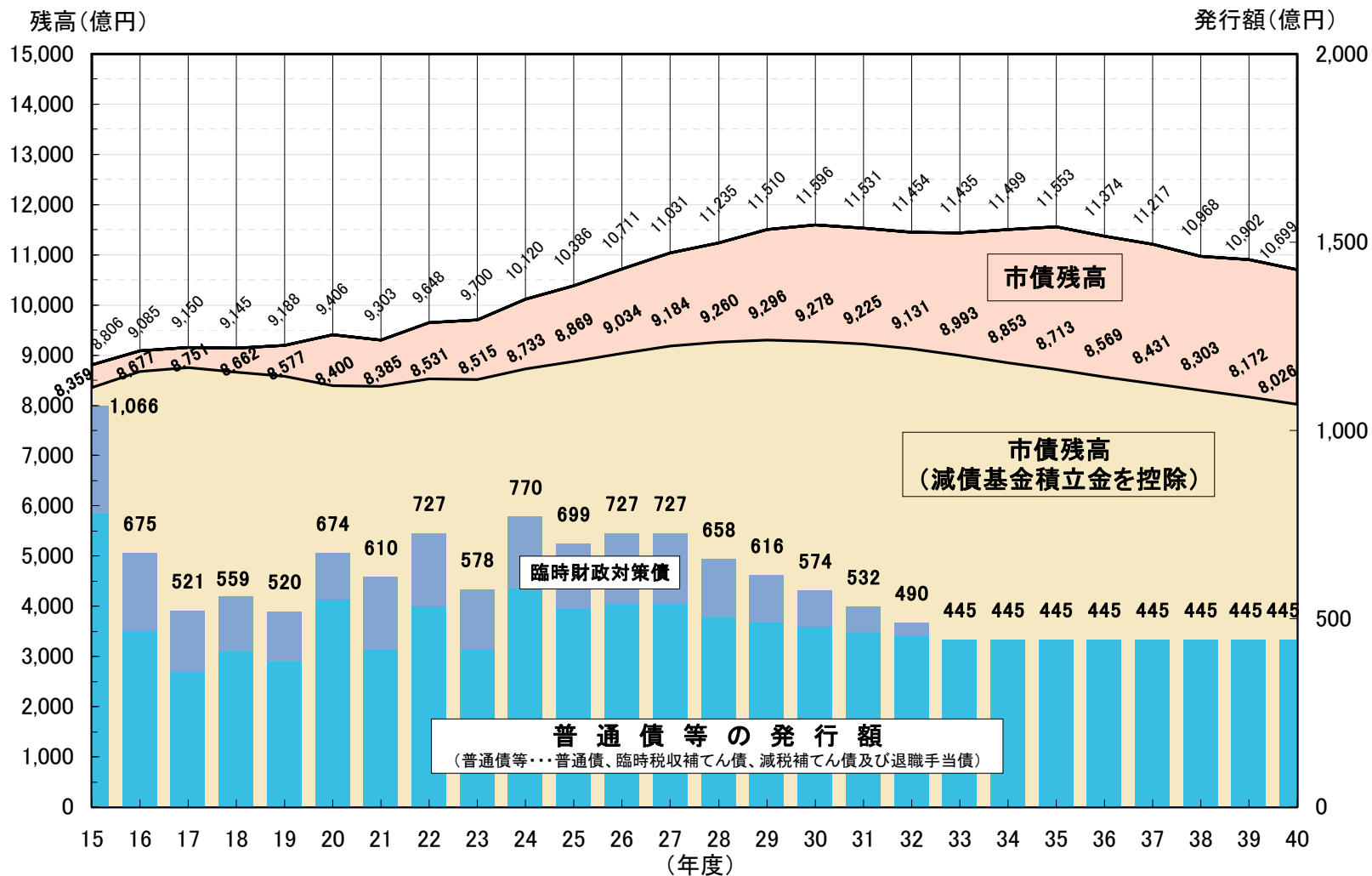


注 実質公債費比率は平成17年度から算出しています。また、平成19年度に算出方法が変更されています。



市債発行額・残高に関する将来推計

市債発行額及び残高の推移





市債に関する取組

市場との対話の重視

起債アドバイザー制度 (H18年度創設)

- 目的
 - 市場関係者及び有識者から、川崎市が起債運営の実務面に関し、直接かつ継続的に助言や意見を聞く
- メンバー
 - 川崎市の主要な引受金融機関(地域金融機関・証券会社等)及び有識者を中心に構成
 - 市場関係者の参加メンバーは、市債の引受に関し、特別な責任及び資格を伴い、起債運営に協力する

投資家懇談会 (H18年度創設)

- 目的
 - 市債を保有・運用する機関投資家及び有識者から、川崎市が直接かつ継続的に意見を聞く
- メンバー
 - 国内の主要な投資家(生保、損保、投資顧問、共済組合など)及び有識者を中心に構成

これまでの実績

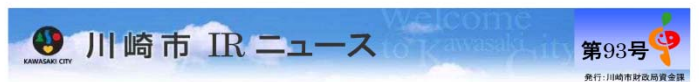
- 25回開催済み(年2~4回)
- 平成23年度から2つの専門部会を設置
- 起債評価や市場の課題について幅広く意見交換
- 本市の起債戦略に大きく寄与

- 14回開催済み(年2回)
- 本市の起債運営について投資家との率直な意見交換を実施
- 本市の円滑な起債運営に大きく寄与



川崎市ホームページ

川崎市では、IRに関するイベント情報や市債発行、財政関連情報などをIRニュースにより年12回、個人・機関投資家の皆様に配信しています。川崎市IRサイトから配信登録できますので、是非御活用ください。



平成26年1月14日

川崎市では、市民や投資家、アナリスト、市場関係者の皆様への情報提供活動の一環として、市債発行計画などの市債情報や、予算・決算などの財政関連情報、IR説明会開催などのIR情報を「IRニュース」として発信しております。

川崎市投資家情報(IR)コード



第38回川崎市5年公募公債の募集について

第38回川崎市5年公募公債の募集をしています。

発行日	平成26年1月31日(金)	償還日	平成30年12月20日(木)
発行額	70億円	利払い日	毎年6月、12月の各20日(年2回)
表面利率	年0.239パーセント	発行価格	額面100円につき100円
応募者利回り	年0.239パーセント(税引き後 年0.190パーセント)		
募集期間	平成26年1月10日(金)～1月27日(月)		(※窓口での販売は1月14日(火)から)

URL: <http://www.city.kawasaki.jp/230/page/0000016900.html>

機関投資家向け川崎市IR説明会のご案内

本市市場公募債の発行条件や商品性の向上等を図り、市場からの資金の安定調達に資するため、機関投資家、引受金融機関などを対象に、本市の経営ビジョンについて説明するほか、市場関係者の理解を深めていただくことを目的として、今年度も「川崎市IR説明会」を開催する予定です。

【日時】平成26年3月25日(火) 16:30～17:45(予定)
【場所】都市センターホテル(日本都市センター会館内 東京都千代田区平河町 2-4-1)

URL: <http://www.city.kawasaki.jp/230/page/0000016399.html>

知ってる? かわさき!

このコーナーは毎回、川崎市に関するマメ知識やお役立ち情報をお伝えします。

市民ミュージアム『昔の暮らし今の暮らし2014』

☆市民ミュージアムでは、縄文時代から昭和にかけての生活道具の移り変わりを振り返る展示が楽しめます。
☆つるべ井戸や石臼、足踏みシンなどの昔の道具体験コーナーのほか、今年度の特集展示として「食」をテーマとして、川崎でかつて作られていた塩や砂糖、醤油・酒などが展示されます。

開催日	2014年1月25日(土)～3月30日(日)
※休館日	毎週月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日(土・日の場合は開館)
会場	川崎市市民ミュージアム 企画展示室2 (中原区等々力1-2)
アクセス	東急東横線・目黒線、JR南武線、JR湘南新宿ライン・横須賀線

IR専用ページ

<http://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/47-4-1-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

川崎市 投資家情報

検索 で検索

川崎市IRサイト



トップ | くらし・手続き | お知らせ イベント・募集 | 市の施設 | 川崎の魅力 みどころ | 事業者 就労支援情報 | 市政情報

現在位置: トップページ > 市政情報 > 市の財政・市債・行政改革 > 市債・宝くじ・資産 > 川崎市投資家情報(IR)

川崎市投資家情報(IR)

- お知らせ
- IRニュース
- ごあいさつ
- 市債発行計画
- 市債発行予定・実績
- 個人投資家の皆様へ
- 市政・財政情報
- 市債に関する会合
- IRポリシー

市債・宝くじ・資産

川崎市投資家情報(IR)

- 川崎市宝くじ情報
- 川崎版PRR戦略かわさき資産マネジメントの取組
- 川崎市のペイオフ対策

サンキューコールかわさき
044-200-3939
(市政に関するお問合せ・ご相談)
よくある質問(FAQ)

電子申請(ネット窓口かわさき)

市役所

市役所案内

お問い合わせ先 川崎市財政局財政部資金課

TEL : 044-200-2182・2183

E-mail : 23sikin@city.kawasaki.jp